

---

---

# 2024年度 事業報告書

---

---

より良い 2025 年度を創り出すため



特定非営利活動法人  
今治 NPO サポートセンター

## 目 次

|     |                  |    |
|-----|------------------|----|
| I   | 2024 年度事業報告      | 2  |
| 1.  | 今治市民活動センター管理運営事業 | 2  |
| 2.  | その他の事業           | 11 |
| 3.  | 会議に関する事項について     | 14 |
| II  | 2024 年度決算報告      | 15 |
| III | 2025 年度事業及び予算    | 20 |
| 1.  | 2025 年度事業計画書     | 20 |
| 2.  | 2025 年度事業予算書     | 25 |

# I 特定非営利活動法人今治 NPO サポートセンター 2024 年度事業報告

## 1. 今治市民活動センター管理運営事業

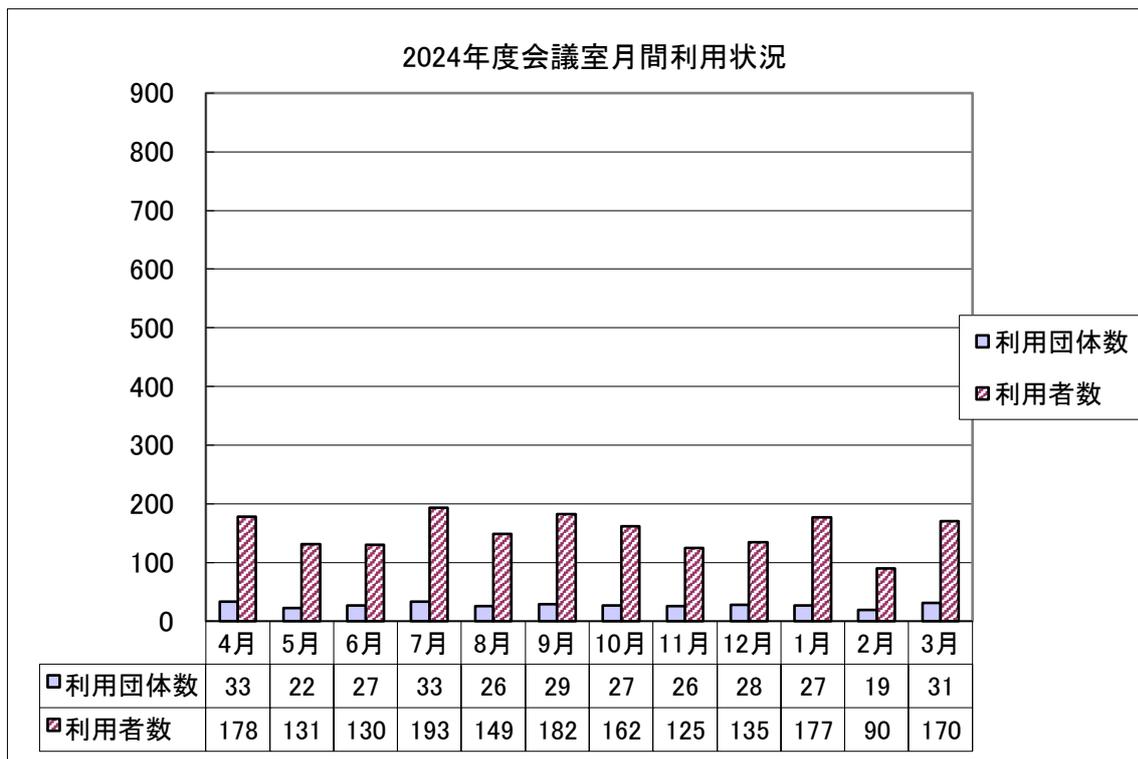
### (1) 施設の運營業務（使用調整、受付・案内業務など）

|    |  |
|----|--|
| 内容 | 通年事業（月から土曜日 10 時～19 時開館）<br>（事前申込みがあれば、日曜日、祝日 10 時～18 時開館。平日 22 時まで開館）<br>・貸会議室の無料提供（登録団体に限る）<br>・機材の貸出<br>・情報交流スペースでのインターネット回線の利用や書籍の貸出<br>・貸事務所の効率的な運営   |
| 対象 | センター登録者・市民ボランティア・一般  |
| 手法 | ・スタッフは使用者と積極的にコミュニケーションをはかり、意見の収集に努めた。<br>・事務所入館団体募集を広報、機関紙等で行い、入館を呼びかけた。  |
| 結果 | <p>会議室の利用者は 328 団体 1,822 人となった（R5 年度；358 団体 2,146 人）。今期も新型コロナウイルス感染拡大を防止しながらの運営となり、特に愛媛県による「BA・5 医療危機宣言」時（8/24～9/16）は、予約の制限を行うなど、参集しての会議の自粛を求めた。年間を通して、会議等を控える傾向は続いた。</p> <p>新規の登録については、2 件となった。登録に際しては許可手続等を適切に行い、公平・平等に使用いただけるよう、運営に努めた。貸し事務室は、3 月末現在で 7 団体が入館、7 部屋を使用している状況である。</p> <p>講座、相談業務等のソフト事業実施については、団体のニーズに寄り添い、個別に具体的な対応を心掛けた。市民活動団体のイベントなどには積極的に訪れ、ボランティア活動のマッチングなどにもつないだ。</p> <p>管理運営への意見収集のために、アンケートを実施したり、使用者と行っている「使用者協議会」等で聞き取りを行ったりした。なお、市と月に 1 回の定例ミーティングにおいて、状況を共有し、感染症対策をはじめ、安全な利用を念頭に、利便性がある施設利用、アフターコロナを見据えた支援策について、十分に協議ができた。</p> <p>《使用者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議時に湯茶の準備がしやすい。備品が揃っている。</li><li>・会議室が広く、充実している。</li><li>・古いですが、美化に努めており、清潔。</li><li>・新しいプロジェクターになって良かった。</li><li>・他の施設に比べ、使いやすい。</li><li>・安価で使いやすい。</li><li>・便利な場所にある。</li><li>・2F は wifi がつながりにくい。</li><li>・広い作業スペースが欲しい。</li><li>・冬期は大会議室の暖房の効きが悪い。</li></ul> |

## 2024年度センター利用状況詳細

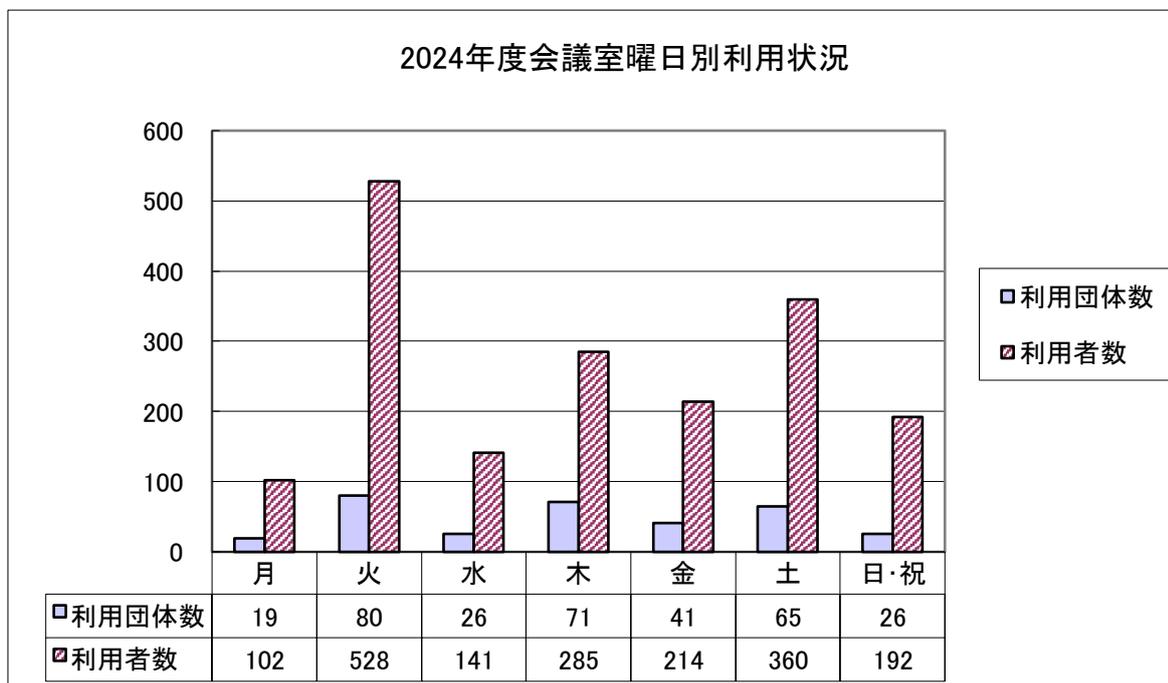
【センター利用状況(月間)】

|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月  | 合計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-------|
| 利用団体数 | 33  | 22  | 27  | 33  | 26  | 29  | 27  | 26  | 28  | 27  | 19 | 31  | 328   |
| 利用者数  | 178 | 131 | 130 | 193 | 149 | 182 | 162 | 125 | 135 | 177 | 90 | 170 | 1,822 |



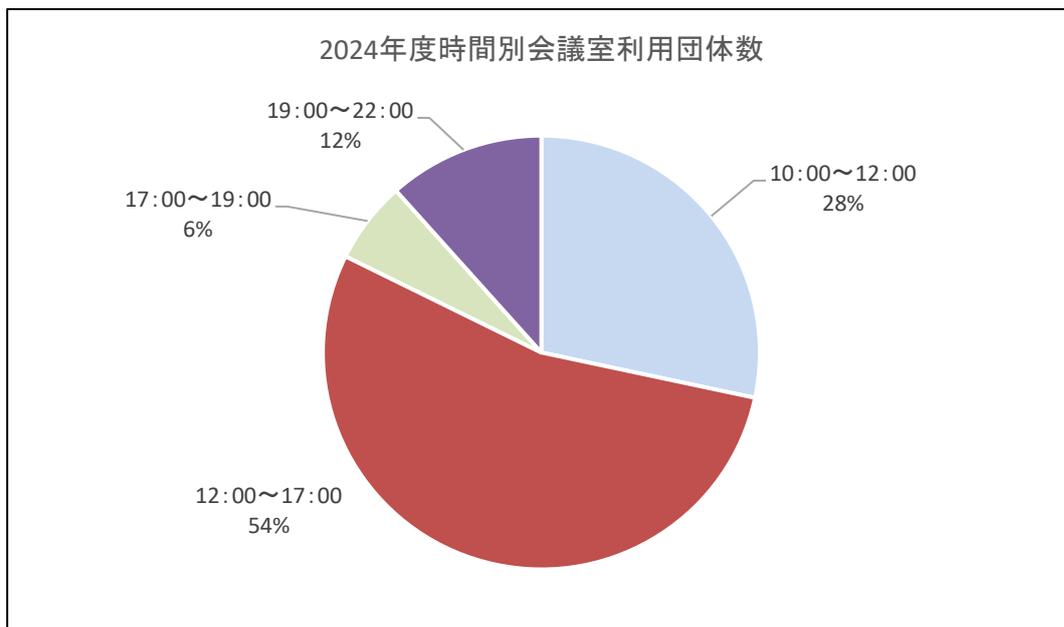
【センター利用状況(曜日別)】

|       | 月   | 火   | 水   | 木   | 金   | 土   | 日・祝 | 合計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 利用団体数 | 19  | 80  | 26  | 71  | 41  | 65  | 26  | 328   |
| 利用者数  | 102 | 528 | 141 | 285 | 214 | 360 | 192 | 1,822 |



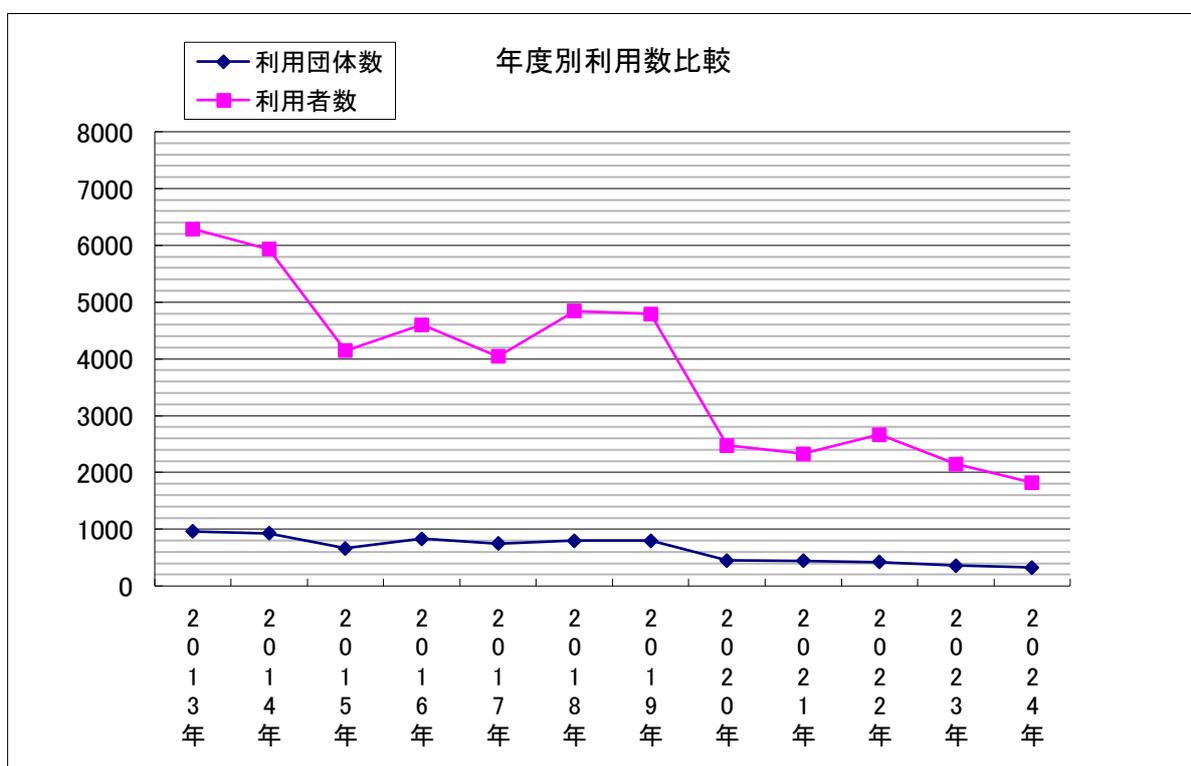
【時間別会議室利用団体数】

| 利用団体数       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 10:00～12:00 | 8  | 7  | 7  | 12 | 9  | 12 | 8   | 6   | 7   | 3  | 3  | 11 | 93  |
| 12:00～17:00 | 19 | 11 | 13 | 16 | 15 | 13 | 15  | 15  | 13  | 18 | 14 | 15 | 177 |
| 17:00～19:00 | 1  | 1  | 4  | 1  | 1  | 1  | 1   | 1   | 3   | 2  | 2  | 2  | 20  |
| 19:00～22:00 | 5  | 3  | 3  | 4  | 1  | 3  | 3   | 4   | 5   | 4  | 0  | 3  | 38  |
| 合計          | 33 | 22 | 27 | 33 | 26 | 29 | 27  | 26  | 28  | 27 | 19 | 31 | 328 |



【年度別利用数比較】

|       | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 利用団体数 | 960   | 929   | 663   | 833   | 750   | 796   | 801   | 449   | 443   | 422   | 358   | 328   |
| 利用者数  | 6,290 | 5,932 | 4,146 | 4,598 | 4,046 | 4,842 | 4,793 | 2,477 | 2,327 | 2,663 | 2,146 | 1,822 |



## (2) 市民活動基礎講座ならびに市民活動スキルアップ講座の開催業務

内容

運営力向上につながる実務を学ぶ講座及び今治市内の多様な現場における活動状況を発信する見学会等を行った。現場見学会では多様な媒体を駆使したコミュニケーションによるつながりづくり等、新しいスタイルを取り入れた事業、サービス展開等、今治市内の多様な現場における工夫や知恵を共有する機会となった。社会変革性、当事者性等、市民活動の特性を磨きながら、企業や行政との協働の視点が必須であることを念頭に、協働のパートナーとしての成長につなぐことを共有できた。

### 第1回 資金調達を考える～効果的な企画書の書き方（参集型＋個別相談）

資金バランスを考えた運営、熱意やアイデアを形にする企画書の書き方など、活動の基本を解説する講座を開催した。参加団体は具体的に助成申請を検討することとなり、個別相談につながった。

日程：2024年4月・2回（2日間/同内容で開催）

手法：各回5団体程度の個別相談形式



### 第2回 NPO 現場見学会（派遣型＋個別診断）

地域の課題やNPOの業務を理解するNPOの活動現場の体験機会を企画した。不戦の意思を込めた式典「平和の鐘を鳴らそう」が全国各地で開催される中、今治市では今治ユネスコ協会により、今治空襲のあった8月6日に行っている。戦争の戦禍を後世に伝える「戦災の碑」に花を供え、犠牲者を追悼する式典へ地元市民と共に参加する機会をつくった。

日程：2024年8月6日（1団体）

手法：今治ユネスコ協会への参加



### 第3回 基礎から学ぶ NPOのための会計講座

（参集型＋個別相談）

会計の基礎知識、書類作成のポイントについて、ワークを通して実践的に学んだ。多くの支援者を得て活動するNPOにとって、情報公開のツールとして大切な決算書類を体系的におさえる時間となった。

日程：2024年10月・1回

手法：講座・ワークショップ・個別相談形式



# 基礎から学ぶ NPOのための会計講座



「作らないといけない書類が多い」「複雑で、面倒…」  
収益事業と非収益事業を分けて考える、事業費と管理費を整理する等、馴染みがない会計の考え方もあり、会計に負担を感じている人が多いのではないのでしょうか。また、補助、助成などで支援を受けている場合、補助・助成元の会計の考え方に沿った報告も必要です。今回は会計の基本を座学とワークを通して学びました。未来志向の活動を創造する私たちにとって、使用したお金の報告の大切さを共有する時間となりました。

## NPOにとって会計とは

会計＝資金・資材の出入りを管理すること

### 第三者にきちんと説明するための客観的資料作成

活動に賛同する人や組織から資金を提供してもらい、活動を創造するNPOにとって、使用したお金の報告をきちんと行うことは重要です。NPOとしての会計報告の目的は、一般市民に対して情報開示を行うこと！改めてその意義を共有しました。

★誰のため：資金を提供してくださる方（会員・寄付者等）

労力を提供してくださる方（ボランティア等）

一般市民のため（所轄庁へ提出）

★何のため：活動の分析（反省材料にする）

予算の立案（計画に従ってお金を集める）

\*活動を伝え、支持・支援者を増やすため\*

## 日々、帳簿をつける習慣を！

事実が発生した時点把握！＝日頃からできることを

日々のお金の出入りについて、その都度（できれば毎日）、記録をつけていくこと！まずは記録の大切さを確認です。時系列に証拠書類を整理しておくことが基本です。

### ①現金出納帳をつける

：できれば毎日、少なくとも1週間ごとに記録！

### ②レシートや領収書を保管する

：1カ月単位でまとめる・時系列で貼り付ける

### ③1カ月ごとに各勘定科目を計算する

：月単位で経営状況を把握しておくで安心。



◀ワークでは帳簿作成に挑戦。実際の仕訳例から貸方と借方の基本について用語の解説。各団体の勘定科目を確認する時間に。

◀勘定科目、決算処理の時期など質疑を交えて理解。「会計のルールを組織内で決める」ことを助言。

## NPO法人会計基準の策定の経緯

### NPO法人の統一した会計報告のルール

#### ①市民にとって分かりやすい会計報告

#### ②社会の信頼に応えうる正確な会計報告

従来からNPO法人は「収支計算書」、「貸借対照表」、「財産目録」の作成をNPO法で義務付けられていました。ただ、具体的な会計基準はなく、NPO法人が作成する会計書類は統一化されていませんでした。その結果、外部の利用者にとっては、NPO法人の活動実態がつかみにくいという課題がありました。こうした状況を改善するために、平成22年7月20日にNPO法人会計基準が策定されました。



もっと詳しく知りたい時は… **検索**

**「みんなで使おう「NPO法人会計基準」**

財務諸表作成のために重要なチェックポイントを紹介しています！

### NPO法人の会計書類

#### **活動計算書**：全体像

全体の「収益」「費用」とその差額を見せるもの  
発生主義会計により、1年間の正味財産の増減を表す

#### **貸借対照表**：年度末時点の財産状況

「資産」「負債」「正味財産」での有高

\*「資産合計」＝「負債合計」＋「正味財産合計」

#### **財産目録**：財産の内容を詳しく記載したもの

科目ごとに個別に「どこに」「なにが」あるか記載

\*見た目は「貸借対照表」とほとんど同じ

#### **財務諸表の注記**：義務と任意選択の項目あり

**重要視！！**会計上の情報を明確にするためのもの  
義務ある「7つの項目」

任意選択の「3つの項目」

#### (参加者の感想)

- 設立間もない時期に、基本が学べて参考になった。
- 「現場を知っている人」のお話でよかった。
- 届け先により、準備する書類が違うことが分かり、勉強になった。

|    |  |
|----|--|
|    | <p>《コンサルティング》</p> <p>相談者や講座参加者等の希望に応じて、専門家との仲介、内部研修や事業設計等の支援を行った。</p>    |
| 対象 | 協働のまちづくり・市民活動に関心のある一般市民  |
| 手法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数開催、個別相談形式など、参集の仕方を工夫して開催した。</li> <li>・講座の事例内容は、市外、県外からも収集し、話題提供に努めた。</li> <li>・会計などの技術的な学びについては、税理士など、地域の専門家の協力を仰ぎ、研修会後の継続的なフォローアップにつないだ。</li> </ul>            |
| 結果 | <p>ワークシートを活用した講座、参加者同士の意見交換の時間を設け、実際の活動に役立つよう支援した。講座内容のスキル獲得に留まらず、情報受発信の新しい手法として、インターネットの利便性への気づきを得た団体があった。団体同志の学び合いを通して、活動のヒントを得る場面もあった。同じ規模や分野の活動団体双方が介することで、連携につながることもあることから、対面する機会の創出を継続的に設けていきたい。</p> |

### (3) 機関紙発行とこれに付随する情報収集業務

|          |   |
|----------|---|
| 内容       | 「夢サラダ」(年間1回)、「得夢サラダ」(年間12回)を編集、発行した。また、一般市民が訪れる場所に「夢サラダ」を設置し、活動経験のない一般市民に情報を届け、市民活動の意義や魅力を伝えた。  |
| 対象       | 市民活動団体・一般   |
| 手法       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の担い手を紹介することで、まちの特性を感じることができる誌面とした。</li> <li>・ホームページでも情報を伝えた。</li> </ul>   |
| 結果<br>課題 | <p>市民活動団体等114団体、施設・機関202箇所に配布した。配布部数は毎月冊子1,795部、掲示用346部となった。「夢サラダ」は暮らしやすいまちづくり、未来への伝承、団体の活動に資する情報を収集し、編纂した。「得夢サラダ」はボランティア募集やイベント開催について、今治市内の活動を中心に掲載。WEB媒体でも発信し、広く活動の周知、参加の呼びかけにつなぐよう努めた。より多くの方に購読してもらえよう、誌面の工夫、配布・掲示場所の開拓と共に、配信方法の工夫や見直しにも取り組んでいきたい。</p> |

#### (4) 市民活動団体相互の交流推進業務

|          |  |
|----------|--|
|          | <p>◆使用者協議会<br/>           2024年5月15日(水) 11:00~12:30 参加者:9名<br/>           火災等の災害への備えとして、使用者に参加を呼びかけ、「施設防火訓練」を行った。自動火災報知設備の作動、避難経路の確認、消火器の場所の確認等を確認した後、避難訓練と初期消火訓練を行った。その後、センターの管理運営業務などについて使用者の意見をもらう「使用者協議会」を開催した。各団体の事業内容を紹介する中で、まちの課題や魅力を共有することができ、有意義だった。</p>  <p>2024年12月17日(火) 11:00~12:30 参加者:11名<br/>           センター使用者によるセンター大掃除を行い、その後、センターの管理運営業務などについて使用者の意見をもらう「使用者協議会」を開催した。使用者は互いの活動を報告し合った。多様性を認め合う支援、持続可能なまちづくりなど、少子高齢化が進む中での活動のあり方を意見交換した。拠点を有意義に活用するために、情報発信の充実、館内掲示物の掲示のマナー等への意見が寄せられた。また公民館活動などとの連携、サークル的な活動者の使用などへの要望も寄せられた。</p> |
| 対象       | 使用登録団体・市民ボランティア・行政職員   |
| 手法       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今治市内の団体の活動紹介の場とする。</li> <li>・多様な活動に触れ、活動の広がりを感じてもらえる取り組みとする。</li> <li>・センターの使用に主体的に関わっていただけるよう依頼する機会とした。施設・設備、備品などのハード整備の優先順位、講座などのソフト支援の重要事案などへの共通認識構築の場とする。</li> </ul>   |
| 結果<br>課題 | <p>会議室や事務所の使い方のルール等の見直し、講座のテーマの検討等、ハード・ソフト両面について、使用者自らが参画しながらセンター運営していけるようにするための協議の場として機能している。また、毎年1回行う防火訓練、避難訓練の場とし、自動体外式除細動器「AED」の使用、避難経路の確認などを行った。事務室入館団体については、入館している事務室からの避難、他団体への避難誘導などを確認いただいた。12月は大掃除を使用者参画のもと行い、使用者にも施設の美化環境整備への理解を仰ぐことができた。</p>   |

## (5) ボランティアコーディネート業務

|          |   |
|----------|---|
| 内容       | ボランティアの応援を求めている方とボランティア活動をしたい方をつなぎ、双方が対等な立場で共に問題解決を図った。   |
| 対象       | ボランティアの応援を求めている組織・個人<br>ボランティア活動をしたい方   |
| 手法       | <ul style="list-style-type: none"><li>・今治市社会福祉協議会と連携をとりながらすすめる。</li><li>・情報提供を求めている人には、機関紙「得夢サラダ」やホームページなどを利用して活動を紹介する。</li></ul>   |
| 結果<br>課題 | <p>ボランティアの応援を求めている組織・個人、ボランティア活動をしたい方のコーディネートを関係機関と連携し進めた。夏季休暇を利用しての学生ボランティア、新たに活動をはじめたいとの声があった。福祉施設や病院等でのボランティア受入は、まだ十分にひらかれていない。イベントなどを中心にマッチングを行った。</p> <p>平日のつながりを、災害などの有事にも機能させるよう、連携を模索したり、一緒に訓練をしたりする現場にも、学生などの参加をマッチングすることができた。また、今治市のイベント、海岸などの清掃活動などは、初めてのボランティア活動として紹介しやすいため、情報提供を行った。やりがいを持って楽しめるボランティア活動の現場づくり、地域コミュニティでの活動の発掘等を推進したい。</p> |

## (6) 相談業務

|          |   |
|----------|---|
| 内容       | 団体設立や運営などのアドバイスを、電話・メール・来所にて日常的に受け付け、対応した。  |
| 対象       | 市民団体・行政職員   |
| 手法       | <ul style="list-style-type: none"><li>・市民活動団体が自らの課題を整理し、その解決策を発見することを支援する。</li><li>・職員で対応できない専門的な質問については、地域資源（地域の専門家、他の支援センターなど様々なテーマに応えられる人、組織）を活用し、支援を行う。</li><li>・初歩的な質問については、フロアーに掲示し、来館者に視覚的に知らせる。</li></ul> |
| 結果<br>課題 | 団体設立や運営などの相談に電話・メール・来所にて対応した。自然災害が頻発しており、災害時における復旧、復興活動と日常的な活動の連動性等を検討する相談は、他機関と連携し、情報発信できた。新しい生活様式の中での活動展開、災害に備えたコミュニティづくり等、地域のウォンツとニーズを見極めた提案型の支援を展開したい。  |

## 来館者アンケート

【方法】アンケート用紙 配布 (73名)

【期間】2025(令和7)年1月9日～2月22日

【対象者】「今治市民活動センター」来館者、使用者

### 問1. 日頃のご来館、ご利用の目的はどのようなことですか？

- ・会議（ミーティング、打ち合わせ、定例会 他）
- ・役員会（理事会、幹事会 他）
- ・事業開催（学習会、研修会、勉強会、相談、座談会、交流会、カウンセリング、視聴・試写会 他）
- ・事務作業（事務室利用、団体の活動・作業、コピー機利用 他）

### 問2. 「今治市民活動センター」について日頃感じていること

|   |                | 大いに満足 | 満足 | やや不満 | 不満 | 未記入 |
|---|----------------|-------|----|------|----|-----|
| ① | 施設(建物)・設備・備品   | 14    | 58 | 3    | 0  | 5   |
| ② | 使用規定(利用時間・料金等) | 21    | 55 | 1    | 0  | 3   |
| ③ | スタッフの対応        | 27    | 49 | 0    | 0  | 4   |
| ④ | 講座・交流会等の企画     | 13    | 52 | 4    | 0  | 10  |

|       | ① 施設(建物)<br>設備・備品   | ② 使用規定<br>(利用時間・料金等)  | ③ スタッフの対応   | ④ 講座・交流会等<br>の企画                                       |
|-------|---|---|---|--|
| 大いに満足 | ・会議時に湯茶の準備がしやすい。備品が揃っている。<br>・会議室が広く、充実している。<br>・使いやすくて良い。  | ・他施設に比べ使いやすい。<br>・安価で使いやすい。   | ・親切な対応。<br>・丁寧な対応。<br>・質問への対応など、色々対応してくれる。              |  |
| 満足    | ・使いやすい。<br>・ちょうど良い広さ。<br>・会議室が広い。<br>・会議室がいつもきれい。<br>・きれいに整頓されている。<br>・古いが美化に努めており、清潔。<br>・設備はいつも掃除されていてきれい。<br>・新しいプロジェクターが良い。<br>・特に不便を感じない。<br>・駐車場のラインが分からない。 | ・便利な場所にある。<br>・登録により無料で使用できている。<br>・利用料金は安い。<br>・リーズナブル。<br>・料金は安い。 | ・良い。<br>・適切な対応で役に立つ。<br>・とよく手伝ってくれる。<br>・普通に良い。<br>・親切。 | ・専門家の助言をいただいた。<br>・個別対応がよかった。<br>・良い。<br>・あまり利用できていない。 |
| やや不満  | ・エアコンの効きが悪い。  | ・(会議室利用者)休館日の使用がしにくい。   |   | ・日祝の昼間に市民団体の交流会をしてほしい。<br>・講座があることを周知できていない。           |

### 問3. 「市民活動センター」に求められる機能 (3つまで)

|                         |    |                     |    |
|-------------------------|----|---------------------|----|
| 活動場所の提供                 | 53 | 人材紹介                | 4  |
| 活動に必要な備品や機材の貸出          | 20 | 市民が活動を体験できる場や機会の提供  | 18 |
| 団体の活動備品の保管場所の提供         | 17 | 調査・研究(団体の状況把握など)    | 2  |
| 情報発信(チラシの設置,WEB 発信など)   | 17 | 相談・講座(団体運営に関する相談など) | 3  |
| 交流(団体間,行政,企業とのネットワークなど) | 11 | その他                 | 0  |
|                         |    | (未記入)               | 17 |

### 「望むサービスや、工夫して欲しい事業等」について

- ・会議室のテーブルが新品になり Happy！次はトイレ設備の改善を希望。
- ・無料で使わせていただけて本当に感謝。
- ・いつも感謝している。
- ・(子ども達の療育活動の利用者より) 今後も実習場所として利用させていただきたい。
- ・駐車場がもっと広いとありがたい。
- ・若い人が利用できるよう周知した方が良い。

## 2. その他の事業

### (1) 情報提供事業

#### ① トークカフェ in ラヂオバリバリ

期間：2024年4月～2025年3月

協力：エフエムラヂオバリバリ

地域の情報を広く社会へ伝える手段であるコミュニティ放送を媒体に市民活動団体紹介、ボランティア情報などを毎週1回に発信した。草の根活動の動きを大きなチカラにしていくために、ラジオを通して人と人の交流を深めた。(今治市民活動センター管理運営事業自主企画事業)

#### ② ホームページの運営

期間：2024年4月～2025年3月

センター事業の紹介と報告、ボランティア情報などをホームページに随時掲載した。広く情報を受発信することにより、ボランティア活動の仲介コーディネーション業務にも役立った。また、「今治市民活動センター」事業である「まちづくりサポーター」の制度紹介のページを設けた。サービスを提供したい個人・団体の紹介を発信した。NPO等、ボランティアの応援を求める組織のニーズ紹介等を充実させることが課題である。

### (2) 審議会・委員会への参加事業

行政が設置する委員会・審議会へ参加しました。

| 期間                     | 名称（主催団体）       | テーマ・目的  |
|------------------------|----------------|---|
| 2024年4/17<br>2025年3/14 | 今治市市民が真ん中検討委員会 | 市民と行政が一緒になって地域課題の解決を進めていくために、今までの取組の見直しや、「市民参画」の具体的な方法等について、調査・検討・審議する。 |

### (3) その他の事業

今治市の中間支援組織として、愛媛県内の中間支援組織とのネットワークを構築し、地域で抱える様々な課題に効果的に対応できるよう情報、知識・技術の習得に努めた。また、愛媛県内の多様なNPOや民間団体等と平時から顔の見える関係をつくり、必要な事業を展開した。

#### ① 連携会議への参加

##### (1) 災害に備えるネットワークづくり

大規模災害発生時、今治市社会福祉協議会と地域の各種団体が連携し、災害ボランティアセンターを設置したり、地域での支援体制の構築を円滑に進めたりすること等を検討する会議に参加した。「西日本豪雨」をはじめ、過去に発災した災害における被災地支援活動の気づきをいかすと共に、必要なネットワークの構築、官民の役割分担を検討した。

## 《災害ボランティアセンター連携会議》

検討会議：2024年7月11日（木） / 今治市社会福祉協議会

検討会議：2025年1月31日（金） / 今治市社会福祉協議会



## 《愛媛県総合防災訓練「NPO・ボランティア等との連携・協働訓練」》

2024年9月1日（日） / グリーンピア玉川 ※台風により中止

## 《今治市災害支援ネットワークの構築に向けた研修会》

災害ボランティアセンター設置訓練・ネットワーク構築研修会

2024年9月11日（水） / 今治市社会福祉協議会



## 《地域支え合い・災害支援ネットワーク第1回エリア（東予・中予・南予）会議》

2024年10月22日（火）/新居浜商工会館 1階「大ホール」

## ② 市民活動普及ブースの設置

今治市民に親しみがあるイベント、地域コミュニティや大学等と連携し、施設登録団体の周知及び施設の認知につながる情報発信を行います。

### (1) あさかぜ KAMAN まつり

/別宮地域食堂 あさかぜ KAMAN

2024年7月7日（日）10:00～14:00

今治市立別宮町学校体育館



### (2) 今治市民のまつり「おんまく」おんまくフレンドパーク

/今治市民のまつり振興会

2024年8月4日（日）11:00～15:00

美須賀コミュニティプラザ

### ③ 講師派遣

市民団体、企業・行政・教育機関などからの依頼を受け、講演・講師派遣を行った。市民社会への理解が深まり、市民の共感と参加が広がるよう、講演、ファシリテーション等を担った。

|                   |          |  |
|-------------------|----------|--|
| 2024年<br>12月3日(火) | 今治市立西中学校 | 今治市内の小中学校において、子どもの目線で今治市を支えていくために必要な視点を育てる「ふるさとキャリア教育」の講師を担った。 |
|-------------------|----------|--|

### ④ 協定

熱中症による人の健康に係る被害の発生の防止が図られるよう、当該施設の指定暑熱避難施設としての指定する協定を締結した。

気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設について、及び運営に当たり必要な事項を定めることを目的とする。

### ⑤ 今治市東部山林火災対応

23日(日)15:50頃 今治市長沢の山中から出火

24日(火) 避難所開設。避難者の増加と灰の被害の報告

25日(水)14:00 今治市社会福祉協議会と情報共有

○ボランティア活動内容の把握と必要資機材の調達方法の検討と開始

○ボランティアの募集にあたり、活動内容と広報の検討

○避難所の状況説明（桜井公民館、朝倉小学校、朝倉公民館）

・今治市福祉政策課との連携。今治市保健師による支援。

・以下の困り事確認→今治市への応援要請

朝倉小(40名避難) 体育館トイレは故障。校舎内のトイレは和式。洋式便座の要請。

キッチンカーによる食事提供(200食)、炊き出しの準備ができることを確認。

26日(木)16:00 災害ボランティアセンター連絡会議

○災害救助法適用にあたり、体制の検討

○鎮火後のボランティア活動に向けての準備

・資機材(スコップ、熊手、鍬(先が鈍い物)、防塵マスク、ゴミ袋(土嚢袋)手配開始

・ボランティア事前登録開始(今治市内のみ)

・ボランティア活動のニーズ調査開始

27日(金)16:00 災害ボランティアセンター連絡会議

○災害ボランティアセンター立ち上げ

31日(月)10:00 災害ボランティアセンター連絡会議

○情報共有と今後の活動方針

・ボランティア需給調整に向けて

事前登録：個人 276名(専門職に限る)、団体 36団体

手法：キントーン(サイボウズ株)の利用

内容：専門職による活動からスタート。一般ボランティアはニーズ把握後

建築土木系：4/1(火)より、現地調査を開始\*平日活動(毎日延べ60名程度)

医療保険系：4/5(土)6(日)の活動(10名程度の専門職)

4/1(火)以降、災害ボランティアセンター本部運営を補助

※定款上、「その他の事業」は実施しなかった。

### 3. 会議に関する事項について

#### (1) 総会

第24回通常総会

日時：2024年4月24日(水)19:30～

会場：今治市民活動センター 大会議室

議題：2023年度事業報告・活動決算報告の件

#### (2) 理事会

第1回理事会

日時：2024年4月24日(水)19:00～

会場：今治市民活動センター 大会議室

議題：2024年度事業計画・活動予算の件  
総会に付すべき事項の件

第2回理事会

日時：2024年7月22日(月)12:30～

会場：今治市民活動センター 大会議室

議題：「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクト 宣言企業認定申請の件  
今治市クーリングシェルター  
(バリ COOL) に係る協定の件  
センター事業の進捗の件

第3回理事会

日時：2025年1月21日(火)18:30～

会場：咲万

議題：センター事業の進捗の件  
情報の配信などの連携の件

第4回理事会

日時：2025年3月24日(月)12:30～

会場：今治市民活動センター 大会議室

議題：2025年度事業計画・活動予算  
2024年度総会報告事項  
役員の改選の件